

『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート



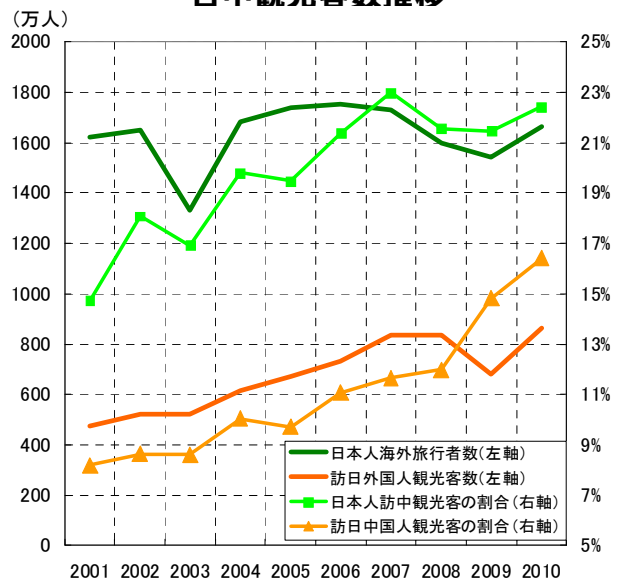
第81号(2011年6月30日) 格安航空便で近くなった日本と中国

増加し続ける観光客

政治や民間など様々な分野で交流を深めている日中両国ですが、観光業界もその一つです。日本人の海外への観光が横ばいの中、中国への観光客は年々増加しています。また、秋葉原電気街での日本製家電製品の大量買いに代表されるように、中国からの訪日観光客数も直近5年間で約2倍以上の増加となっています。

こうした観光客の増加に伴い、日本の飲食店のメニューや案内板、また店内放送などに中国語が登場することも珍しくなくなりました。一方、中国でも日本人観光客向けに日本語メニューの整備やスタッフの日本語対応が進められています。今では上海などの大都市のほとんどのレストランで、日本語表記が見られ、観光地の多くのお土産店でも日本語が通じます。

日中観光客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)のデータをもとに、
 スパークス・アセット・マネジメントが作成

震災で消えた観光客

しかしながら、日本では東日本大震災により、海外の観光客が一斉に消えてしまいました。中国のみならず各国政府が出した日本への渡航自粛・延期措置の影響で、日本行き飛行機の欠便、運休が続きました。風評被害は、東日本のみならず、西日本の観光地まで広がり、中国人団体客などに頼っていた各地の観光産業は、事業計画の見直しまで迫られているようです。日本政府は対応策として、個人向け観光ビザの発行規制を大幅に緩和し、中国人観光客の呼び込みに力を入れています。

一方、中国への日本人観光客も自粛などの影響で、前年割れが続きました。実際、いつも満席に近い中国—日本間の飛行機でも、空席が目立つようになっています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



格安航空便で気軽になった両国間の交流

そんな中、これまでの航空券の約半額以下で日中間を行き来できる格安航空便が、注目されています。日中間の観光客の流れが、団体客から個人客へ、富裕層から中流層へと変化中、食事の提供など、サービスの一部をカットすることで実現した格安航空便は、飛行時間の短い日中間ではニーズが拡大しつつあります。

震災直後は減便となった格安航空便ですが、次第に旅客数も戻りつつあり、便数も7月からこれまで通りに復旧する予定となっております。

日中間の格安航空便は現在、茨城—上海間、高松—上海間の2路線となっております。高松もしくは茨城—上海間の航空券は、成田や羽田発の格安航空券の約半額以下で購入でき、シーズンによっては、東京—大阪間往復の新幹線切符よりも安価となります*。そして、東京駅から茨城までの高速バスは500円で利用できるため、空港までの交通費もかなり格安となります。

*2011年6月現在。今後変更する場合があります。

国際便利利用者数

	2010年4月	2011年2月
成田空港	2,564,933	2,032,995
茨城空港	6,158	10,390
割合	0.24%	0.51%

出所：国土交通省東京航空局

茨城空港の待合室



格安航空に搭乗



出所：スパークス・アセット・マネジメント撮影

茨城空港では、ボーディングブリッジではなく、乗客が徒歩で搭乗することになっています。

震災などで一時的には減少した日中間の民間交流は、格安航空便の登場で、より庶民的で気軽なものへと変化していき、両国は今まで以上に身近な存在になりつつあります。

(編集後記) 筆者も最近茨城—上海間の格安航空便を利用しましたが、震災後に関わらず、ほぼ満席でした。また、利用者は一般の飛行機と比較して、ビジネスマンや団体客よりも中国人、日本人の個人観光客が目立ちました。

(GDP48)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。